

令和7年度岡山県農林水産総合センター農業研究所試験研究課題評価結果票

＜事前評価＞

総合評価凡例 5：優先的に実施することが適当 4：実施することが適当
3：計画等を改善して実施することが適当 2：実施の必要性が低い
1：計画等を見直して再評価を受けることが必要

番 号	R7-事前-1						
課題名	環境に配慮した新しい水田施肥体系の確立						
課題の概要	水稻栽培において、肥効調節型でプラスチックを使用しない新しい緩効性肥料を用いた全量基肥施肥技術を確立する。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	必要性	4 人	2 人	0 人	0 人	0 人	4 . 7
	有効性	3 人	3 人	0 人	0 人	0 人	4 . 5
	効率性・妥当性	2 人	2 人	2 人	0 人	0 人	4 . 0
	総合評価	5 人	1 人	0 人	0 人	0 人	4 . 8
助言・指摘事項等	<p>1. プラスチック被覆肥料を使わない水稻生産は環境の面から今後ますます重要度が増すので、岡山県が主導して精力的に取り組んで欲しい。</p> <p>2. 社会的ニーズ・関心の高い課題であるので、より実効性の高い成果が得られることが期待される。</p> <p>3. 新しい施肥体系が確立されれば、県内での普及も見込まれる。</p> <p>4. プラスチックを使用しない代替技術の早期確立が強く求められている。</p>						

番 号	R7-事前-2						
課題名	プラスチック被覆肥料を用いない麦類の省力施肥法の確立						
課題の概要	麦類栽培においてプラスチックを使用しない緩効性肥料を用いた省力施肥法を確立する。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	必要性	2 人	4 人	0 人	0 人	0 人	4 . 3
	有効性	3 人	3 人	0 人	0 人	0 人	4 . 5
	効率性・妥当性	1 人	2 人	3 人	0 人	0 人	3 . 7
	総合評価	2 人	4 人	0 人	0 人	0 人	4 . 3
助言・指摘事項等	<p>1. プラスチック被覆肥料を使わない麦生産は、環境の面から重要であるので、効果的な施肥方法を見つけて欲しい。</p> <p>2. 社会的ニーズ・関心の高い課題であるので、より実効性の高い成果が得られることが期待される。</p> <p>3. 対象品種については、タンパク質の高い品種も登録されますので、幅広く検討することを期待する。</p> <p>4. 新規性があり、実現できれば、県内固有の技術として活用できるのではないか。</p>						

番 号	R7-事前-3						
課題名	気候変動に対応した黒大豆の系統選抜と安定生産技術の確立						
課題の概要	莢付きがよい新たな系統の選抜に取り組むとともに、「岡山系統1号」の収量・品質向上のための栽培技術を検討する。また県が育成した黒大豆品種・系統について健全で純正な原原種を供給する。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	必要性	1 人	4 人	1 人	0 人	0 人	4. 0
	有効性	0 人	6 人	0 人	0 人	0 人	4. 0
	効率性・妥当性	0 人	4 人	2 人	0 人	0 人	3. 7
	総合評価	1 人	5 人	0 人	0 人	0 人	4. 2
助言・指摘事項等	1. 系統ごとの形質を早急に把握することで、高温・乾燥耐性のある品種育成に努めて欲しい。 2. 今後の安定生産に役立つ成果が得られることが期待される。 3. 収穫時期も裂皮等品質に影響を及ぼす事例があるので、適期収穫に関しても、余裕があれば検討願いたい。 4. 異常高温の状況下でも、黒大豆の収量や品質を維持し、ブランド化をさらに強化する必要がある。 5. 黒豆の安定的栽培が可能な品種の選定と栽培方法を確立すれば、広く活用され、生産者の所得向上に寄与できる。						

番 号	R7-事前-4						
課題名	モモのスマート栽培システムの実用化と担い手の育成						
課題の概要	Y字形栽培とスマート農業技術を組み合わせた、水田転換園における本県オリジナルモモ品種の省力栽培の実用化試験に取り組むとともに、本研究圃場を担い手の省力栽培技術習得の場として活用する。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	必要性	2 人	4 人	0 人	0 人	0 人	4 . 3
	有効性	3 人	3 人	2 人	0 人	0 人	4 . 5
	効率性・妥当性	2 人	2 人	2 人	0 人	0 人	4 . 0
	総合評価	3 人	3 人	0 人	0 人	0 人	4 . 5
助言・指摘事項等	<p>1. モモのブランド維持のためにも、精力的に研究を進めて欲しい。</p> <p>2. 担い手の育成に関わる課題は社会的ニーズが高く、非常に重要な課題であるため、実践的で活用しやすい成果につながることを期待される。</p> <p>3. 省人化対策として早急な対応が必要な課題である。</p> <p>4. スマート栽培による労働負担の軽減と終了の安定化は、将来的な担い手確保などにつながる可能性があると思われる。</p> <p>5. 本研究圃場を担い手の省力栽培技術習得の場として活用することが期待されている。</p>						

番 号	R7-事前-5						
課題名	夏季の異常高温に対応したブドウ栽培技術の開発						
課題の概要	異常高温下における従来の栽培管理方法について、果実生産への有効性を再検証するとともに、新たな資材や技術の導入による応急的な対策技術を開発する。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	必要性	1 人	5 人	0 人	0 人	0 人	4 . 2
	有効性	1 人	5 人	0 人	0 人	0 人	4 . 2
	効率性・妥当性	1 人	3 人	2 人	0 人	0 人	3 . 8
	総合評価	2 人	4 人	0 人	0 人	0 人	4 . 3
助言・指摘事項等	1． 異常高温に対処する栽培技術の開発は喫緊の課題であるので、精力的に取り組んで欲しい。 2． 費用対効果や労力面でも現実的な対応策の検討により、新たな栽培技術の開発につながることが期待される。 3． 現場のニーズに対応して早急に取り組むべき課題である。 4． 研究の成果は安定的で高品質なブドウ栽培に貢献できる 5． 夏季の異常高温の状況下でも高品質な果実の生産が可能となり、県産ブランド力の更なる強化に貢献できる取組である。						

番 号	R7-事前-6						
課題名	優良な育種用品種の収集によるイチゴ新品種の育成						
課題の概要	高級果専店で取引される高品質な「晴苺」ブランドにふさわしい、大粒で外観に優れ食味の良いイチゴ新品種を育成する。また、農家経営の安定化に寄与する多様な特徴を持つ品種の育成も同時に行う。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	必要性	2 人	3 人	1 人	0 人	0 人	4 . 2
	有効性	1 人	4 人	1 人	0 人	0 人	4 . 0
	効率性・妥当性	1 人	2 人	3 人	0 人	0 人	3 . 7
	総合評価	2 人	4 人	0 人	0 人	0 人	4 . 3
助言・指摘事項等	<p>1．新品種が開発されるまでの間、他機関が開発した品種の利用を検討してはどうか。</p> <p>2．食味に優れ、生産性の高い新品種が選抜されることが期待される。</p> <p>3．未譲渡性の担保や海外流出に留意して取り組む必要がある。</p> <p>4．岡山県内でしか食べられないといった販売方法の検討も進めていただきたい。</p> <p>5．早期に多様な優良特性をもつイチゴ新品種の育成が期待される。</p>						

番 号	R7-事前-7						
課題名	集落営農組織等の二階建て方式による中山間地域の活性化方策の策定						
課題の概要	集落営農等の二階建て方式の確立に向けた制限要因及び合意形成手法を解明し、中山間地域の活性化方策を明らかにして、施策形成のための提言をする。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	必要性	2 人	4 人	0 人	0 人	0 人	4 . 3
	有効性	0 人	5 人	1 人	0 人	0 人	3 . 8
	効率性・妥当性	1 人	4 人	1 人	0 人	0 人	4 . 0
	総合評価	2 人	4 人	0 人	0 人	0 人	4 . 3
助言・指摘事項等	1．他府県の先行事例を参考にする際には、問題点も含めて、導入方法を検討して欲しい。 2．中山間地域の高齢化や担い手不足に対応して早急に取り組むべき課題である。 3．市町村などと連携して現地実証などを行い、成果の定着、検証をお願いしたい。 4．研究成果を行政施策に反映させ、集落営農組織等の二階建て方式の取組増加につなげてもらいたい。						

注意事項

- ① 各評価委員の評価内容を基に、重複する評価内容を取りまとめて記載する等、簡潔にとりまとめてください。また、この資料は、HP で公表する予定ですので、特定の個人を指す事例や特許取得等に支障がある内容は表現を改める等、個人情報の保護や知的財産権の取得等に支障がないよう、配慮してください。
- ② 評価結果欄は全ての項目について、得点を付けた人数を記載し、平均点を少数第 1 位で記載してください。

令和7年度岡山県農林水産総合センター農業研究所試験研究課題評価結果票

< 中間評価 >

総合評価凡例 5：優先的に継続することが適当 4：継続することが適当
 3：計画変更して継続することが適当 2：継続の必要性が低い
 1：中止すべきである

番 号	R7-中間-1						
課題名	冷房処理を活用したスイートピーの着花安定化技術の確立						
課題の概要	ヒートポンプを活用し、秋季から春季まで高品質な切り花生産を可能とする栽培技術を確立する。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	目標達成可能性	0 人	4 人	2 人	0 人	0 人	3.7
	〃（阻害要因）	2 人	2 人	2 人	0 人	0 人	4.0
	必要性	1 人	2 人	3 人	0 人	0 人	3.7
	有効性	1 人	3 人	2 人	0 人	0 人	3.8
	効率性・妥当性	0 人	4 人	2 人	0 人	0 人	3.7
	総合評価	2 人	4 人	0 人	0 人	0 人	4.3
助言・指摘事項等	1. ヒートポンプを利用した冷房処理は効果があることが判明しているの で、ヒートポンプが速やかに導入されるように、現地検討会、講習会、予 算政策に取り組んで欲しい。 2. 経済的な評価も重要であることから、費用対効果の高い技術の確立が期 待される。 3. 経済性の評価をしっかりと行い、成果の普及にあたっては、その利益を明 確に提示することが必要と考える。 4. 年次変動を見ながら成果の普及に向けた検討を進めていただきたい。 5. 秋から春までの冷房処理を組み合わせることにより、品質を向上させ、 安定生産を可能とする技術の開発が期待されている。						

注意事項 事前評価と同じ

番 号	R7-事後-2						
課題名	ブドウ新品種の安定生産技術の確立						
課題の概要	県内で注目され、現地で急速に普及する可能性があるブドウ新品種の高品質安定生産技術を確立する。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	目標達成度	0 人	3 人	3 人	0 人	0 人	3. 5
	有効性（効果）	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3. 3
	有効性（目的以外の成果）	0 人	3 人	3 人	0 人	0 人	3. 5
	効率性・妥当性（費用対効果）	1 人	2 人	3 人	0 人	0 人	3. 7
	効率性・妥当性（計画）	0 人	3 人	3 人	0 人	0 人	3. 5
	成果の活用・発展性	0 人	4 人	2 人	0 人	0 人	3. 7
	総合評価	0 人	3 人	3 人	0 人	0 人	3. 5
助言・指摘事項等	<p>1. 新品種の安定生産技術の開発は重要であるので、得られた結果を速やかに普及させて欲しい。</p> <p>2. 裂果の問題・原因が明確になると、岡山県内でより栽培しやすくなることが期待される。</p> <p>3. 県内で各品種を安定的に生産するための技術とその効果を整理しており、成果が活用されることを期待する。</p> <p>4. 確実な無核化に有効な処理方法を確立した。適切な品種の選定や普及について課題があるように思う。</p> <p>5. 開発された技術は、県内で注目され、植栽が進みつつあるブドウ新品種で広く活用されることが期待できる。</p>						

番 号	R7-事後-3						
課題名	「晴 莓」の連続安定出荷のための栽培技術の開発						
課題の概要	育苗管理、ク라운冷却及び炭酸ガス施用が収量や果実品質に及ぼす影響を明らかにし、12月から5月まで、良食味な「晴莓」を連続安定出荷できる栽培技術を開発する。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	目標達成度	0 人	4 人	2 人	0 人	0 人	3 . 7
	有効性（効果）	0 人	3 人	3 人	0 人	0 人	3 . 5
	有効性（目的以外の成果）	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3 . 3
	効率性・妥当性（費用対効果）	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3 . 3
	効率性・妥当性（計画）	0 人	1 人	5 人	0 人	0 人	3 . 2
	成果の活用・発展性	0 人	5 人	1 人	0 人	0 人	3 . 8
	総合評価	0 人	5 人	1 人	0 人	0 人	3 . 8
助言・指摘事項等	1．ブランド「晴莓」として出荷するためには、品質低下を起こさない栽培管理法の確立が必要である。 2．安定的な生産につながるような取組を引き続きお願いしたい。 3．検討した各技術の組合せで最終的に約3割の増収と10a当たり170万円の収益増加の可能性を示したことを高く評価する。 4．東京などの大消費地だけでなく、地元でのブランド価値を高める方法も考えてほしい。 5．生産現場への普及が期待される。						

番 号	R7-事後-4						
課題名	準高冷地での「シャインマスカット」成熟促進技術の確立						
課題の概要	準高冷地における「シャインマスカット」の糖度上昇と果粒肥大を両立させる栽培技術を確認する。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	目標達成度	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3. 3
	有効性（効果）	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3. 3
	有効性（目的以外の成果）	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3. 3
	効率性・妥当性（費用対効果）	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3. 3
	効率性・妥当性（計画）	0 人	1 人	5 人	0 人	0 人	3. 2
	成果の活用・発展性	0 人	4 人	2 人	0 人	0 人	3. 7
	総合評価	0 人	4 人	2 人	0 人	0 人	3. 7
助言・指摘事項等	<p>1. 準高冷地におけるブドウ生産を安定化させるための技術開発を今後も進めて欲しい。</p> <p>2. 今後の現地での技術指導と技術活用が期待される。</p> <p>3. 計画通りの成果が得られたことを評価する。</p> <p>4. ニーズの高い県中北部での実証活用が必要と考える。</p> <p>5. 生産者が気候や樹の状態に応じた副梢管理やホルモン処理をすることで、品質と収量の向上が期待できるため、産地への普及を急いでほしい。</p>						

番 号	R7-事後-5						
課題名	気象変動等に対応した黒大豆枝豆の安定生産技術の確立						
課題の概要	黒大豆の安定生産技術を確立するため、現地調査で明らかにした収量低下要因に係る対策技術を現地に導入して効果を検証するとともに、現地の実態に即した対策マニュアルを作成する。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	目標達成度	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3 . 3
	有効性（効果）	0 人	1 人	5 人	0 人	0 人	3 . 2
	有効性（目的以外の成果）	0 人	3 人	3 人	0 人	0 人	3 . 5
	効率性・妥当性（費用対効果）	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3 . 3
	効率性・妥当性（計画）	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3 . 3
	成果の活用・発展性	0 人	5 人	1 人	0 人	0 人	3 . 8
	総合評価	0 人	4 人	2 人	0 人	0 人	3 . 7
助言・指摘事項等	1．様々な生産者が簡易で利用しやすい灌水マニュアルの作成が必要である。 2．作成したマニュアルが今後の普及につながることが期待される。 3．高温・乾燥対策については、対応可能な現地において事例を積み上げていく必要があると思う。 4．マニュアルを県内全域で活用することで安定生産に寄与できると思う。 5．収量低下が問題になっている黒枝豆だけでなく黒大豆栽培の安定多収や食味向上に結び付く技術であり、生産現場への普及が期待されている。						

番 号	R7-事後-6						
課題名	環境に配慮した新しい水田施肥体系の確立						
課題の概要	水稲栽培において、肥効調節型でプラスチックを使用しない緩効性肥料（硫黄被覆肥料、ウレアホルム肥料）を用いた全量基肥施肥技術を確立する。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	目標達成度	0 人	3 人	3 人	0 人	0 人	3 . 5
	有効性（効果）	0 人	3 人	3 人	0 人	0 人	3 . 5
	有効性（目的以外の成果）	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3 . 3
	効率性・妥当性（費用対効果）	0 人	2 人	4 人	0 人	0 人	3 . 3
	効率性・妥当性（計画）	0 人	3 人	3 人	0 人	0 人	3 . 5
	成果の活用・発展性	0 人	5 人	1 人	0 人	0 人	3 . 8
	総合評価	0 人	4 人	2 人	0 人	0 人	3 . 7
助言・指摘事項等	<p>1．環境に配慮した水稲生産の可能性が生じたことは、十分な成果と認められる。</p> <p>2．開発した技術を円滑に情報提供し、実際の活用へとつなげていくことが重要である。</p> <p>3．中生、晩生で収量を確保するには追肥が必要になることが明らかになったので、今後は新規肥料や施肥法の検討を期待する。</p> <p>4．労働負担にならない施肥や、プラスチック柄を使わない肥料の普及についても研究していただきたい。</p> <p>5．プラスチックを使用しない緩効性肥料の早期の実用化が強く求められており、生産現場への普及が期待されている。</p>						